



—古代の実存思想—

ソクラテス

ブッダ

老子

前469～前399

前443～前383(サル瓦)

前520～232(保立)

ブッダ(釈迦)の中心思想は「天上天下唯我独尊」。SMAPの「世界に一つだけの花」は、その分りやすい現代バージョン。すべては「縁」により起こると言ふ真実を明らかにし、拠り所は自分自身と法則であると説いた。慈悲に満ちている。

ほぼ同時代に活躍したソクラテスは、エロース(恋愛)を動力源として個人の考える力と善美に憧れ実現を求める生き方を至高とした。問答法により、思慮の点で、知識人は、ふつうの人劣ることを示した為に恨みを買った。

女性原理につく中国の老子は、水のようなしなやかさを理想とし、悠然と道を歩み、内から湧れるパワーある徳を説き、孔子の道徳を批判した。女房の性愛による結びつきを重視し、そこから公共中国を考えた。「学を絶てば憂いなし」

他力念仏の法門徒は、後鳥羽上皇らにより弾圧され、親鸞は佐渡に島流しとなり、4人が死罪となる。

親鸞は、中世日本の実存思想の中心。「善人でさえ往往できる(教われる)のだから、悪人はなおのこと」

淨土真宗はわが国最大の宗派で、晩年のハイデggerは、西欧哲学から離れ、親鸞思想に傾倒、心酔した。



親鸞
1173～1262



イマヌエル・カント
1770～1824

「不滅の恋人」に象徴されるように、恋愛はベートーベンの創作の源泉。自由と平等の「共和制」(王や貴族はない)による人類の解放と個々人のよろこびを歌う交響曲9番「合唱」は、全世界で最も敬愛されてきた傑作。今なお現代性・未来性をもつ作品も多い。

第九 よろこびの歌



生前は、恋愛小説家として著名。
同時に発表された『エミール』
(教育論の古典といわれる大著)
と『社会契約論』(古代アテネの直接民主制に範をとり、人民主権による社会の原理を示した)は、近代民主主義を拓いた名著。

カルヴァー
1712～1798



人間は、自由から逃げることはできない。
実存の倫理、
実存的精神分析。
20世紀フランスの
実存主義者サルトル
は、ノーベル文学賞
を辞退。日本での受
容は竹内芳郎が中心。

サルトル
1905～1980.



私と共和制
新しい政治社会のため
+人間思想の三部作企画

武田康弘著
白樺教育館

天皇は、國事行為から解放され、文化と國際親善に専念。人權の回復と共和制へのスマースな移行が必要。
江戸城ではなく、ほんらいの住まいである京都御所に戻られることが求められる。

意味をつかみ、眞実・truthを
探求する。

人間の価値は、知識・履歴・財産の所有ではなく、存在の魅力にあります。そこにいるだけでもよいのです。

外的(世間的)価値に合わせ
従うのではなく、内向眞実と意
味充実の生を歩むのが、人間の
ほんらいの姿です。

沈思と自問自答、静かに自己
を見つめ、内から内発的に思考
する。その土台のない「対話」
は無意味です。

序列と形の日本文化を超えて、
内容と意味にあふれる世界へ！

武田康弘

恋知

φιλοσοφία

プロソピア
Philosophy

Love of thinking

事実学ではなく意味論の世界へ。
(愛知) (本質論)



神アカデミアの
古ローマの
石像

ネオテニー(幼達成熟)－人間の生物としての特性

neos(若さ) + teine(延長) ヒトは、大人にはならない。

20世紀の人類学者・モンターギュ

競争原理から納得原理へ。

それが人類進化のほんらいの方向。



ハミ出すぐらい



愛とあげま

よい・good 美しい・beautifulへの憧れ

感 感じ想い考える私が座標軸

SMAPの皆が愛して
最大のヒット曲。だれでもが特別のオマケ。



青空を見る習慣を！ 創立 1976年～

ソクラテス教室



2008年1月参議院での討論会 (55回)

白樺教育館

1976年～
2015年第40回式典キャンピング(63歳)

2014年 白樺教育館・新館落成1周年 (62歳)